

地域経済動向レポート

調査時期	2021年10月			対象期間	2021年7月～9月	
対象事業所	<b>小規模事業者対象（中企業は、今回より廃止）</b> <b>①振興モニター137件 回答102件 ②市内金融機関取引先20件 回答18件</b>					
全産業合計	<b>120件 ※全調査対象157件／回答120件（76.9%）</b>					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	22	29	15	16	26	12
付帯調査	<b>当所専門家派遣事業について（集計後、当所事業の参考資料として活用）</b>					

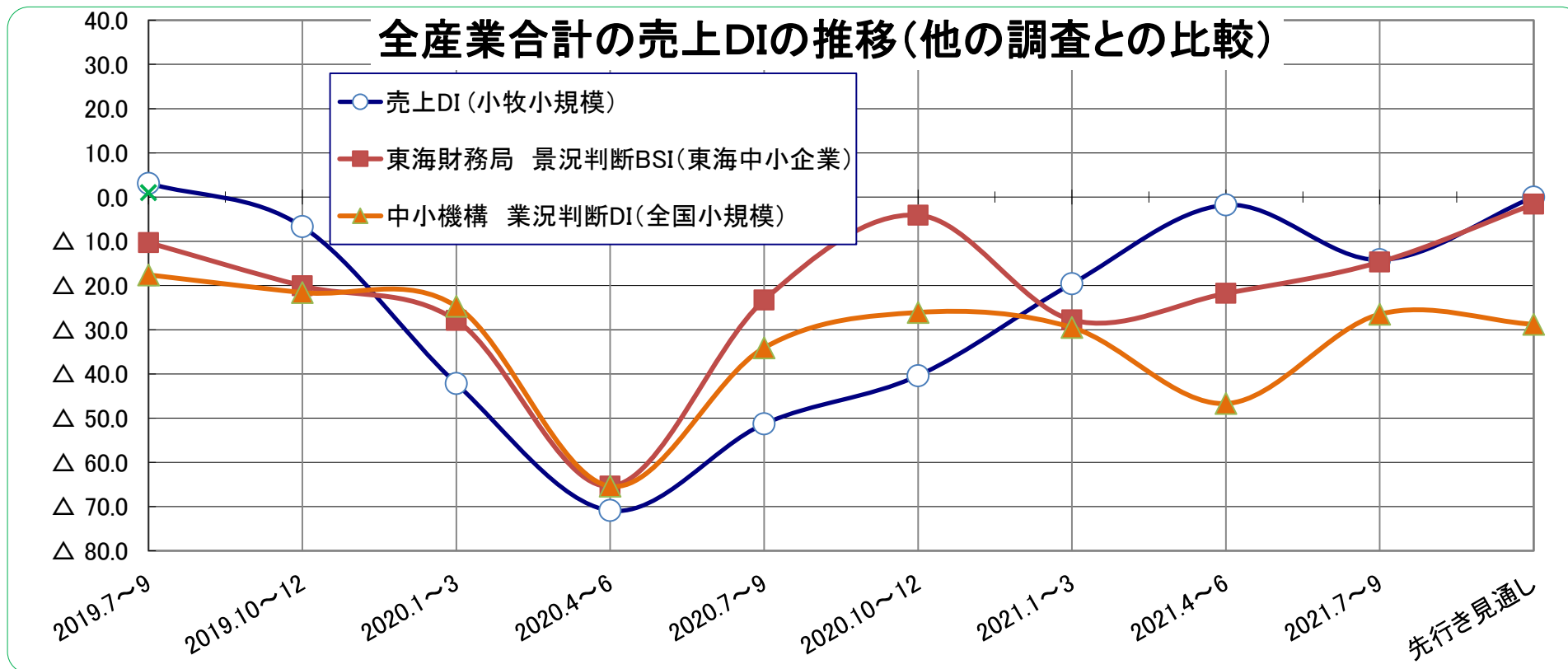
※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

市内小規模の売上DIは（前回△1.8→今回△14.2）とマイナス幅が悪化。先行きは回復し、プラスに好転の見通し。

中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは、マイナス幅が回復（前回△46.7→今回△26.5）、先行きはマイナス幅がほぼ横ばいの見込み。東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断はマイナス幅でほぼ横ばい（前回△21.8→今回△14.7）、先行きはマイナス幅が回復する見込み。

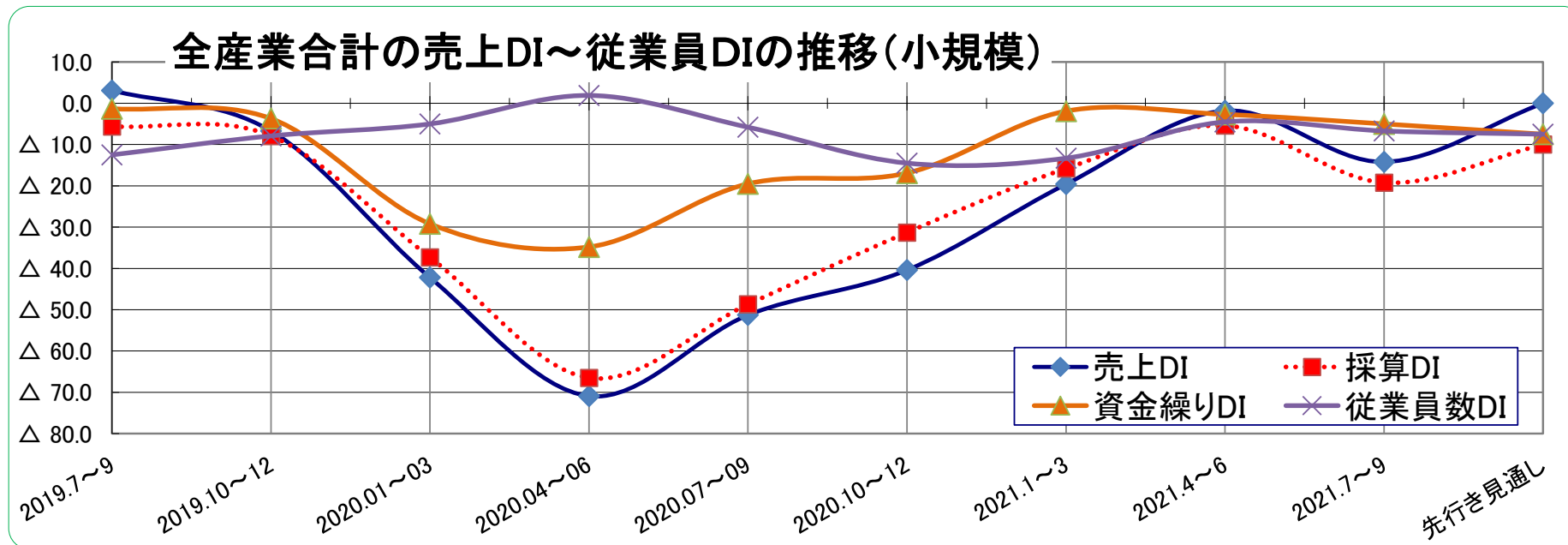
## 地域経済動向レポート

- ①**売上D I**では、建設が大幅に回復するも、小売りはマイナス幅が横ばい、製造・卸売・サービス・その他は悪化。  
先行きはサービスが大幅に回復、建設・卸売は増加、製造・小売・その他は悪化の見通し。
- ②**採算D I**は、採算D Iは、悪化（前回 $\Delta 5.4$ →今回 $\Delta 19.2$ ）。建設は好転、小売は横ばい、製造・卸売・サービス・その他は悪化。  
先行きは建設・卸売・小売・サービスは好転。製造は横ばい、その他は更に悪化の見通し。
- ③**資金操りD I**は、マイナス幅でほぼ横ばい（前回 $\Delta 2.7$ →今回 $\Delta 5.0$ ）。建設と卸売が好転、製造がプラス維持も悪化。小売・サービス・その他は悪化。  
先行きは建設が横ばい、サービスが改善、製造・卸売・小売・その他は悪化の見通し。
- ④**従業員D I**は、引き続き不足の傾向（前回 $\Delta 4.5$ →今回 $\Delta 6.7$ ）。卸売のみ過剰傾向、小売は横ばい。  
先行きは、卸売以外の建設・製造・小売・サービス・その他で不足傾向となる。



●全産業合計の売上DI推移

調査実施月	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	
調査期間	2019.7~9	2019.10~12	2020.1~3	2020.4~6	2020.7~9	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 70.9	△ 51.3	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	0.0
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 17.6	△ 21.6	△ 24.7	△ 65.4	△ 34.1	△ 26.1	△ 29.5	△ 46.7	△ 26.5	△ 28.8
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 10.3	△ 20.1	△ 27.9	△ 65.4	△ 23.3	△ 4.1	△ 27.8	△ 21.8	△ 14.7	△ 1.6



●全DIの推移

調査実施月	2019.7	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.4	2021.7	2021.10	
調査期間	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	2020.04~06	2020.07~09	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	先行き見通し
売上DI	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 70.9	△ 51.3	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	0.0
採算DI	△ 5.6	△ 7.9	△ 37.3	△ 66.5	△ 48.7	△ 31.3	△ 15.8	△ 5.4	△ 19.2	△ 10.0
資金繰りDI	△ 1.3	△ 3.7	△ 29.2	△ 34.8	△ 19.5	△ 16.9	△ 1.9	△ 2.7	△ 5.0	△ 7.5
従業員数DI	△ 12.5	△ 7.9	△ 5.0	1.9	△ 5.8	△ 14.5	△ 13.3	△ 4.5	△ 6.7	△ 7.5

## 地域経済動向レポート

### ●売上DIの推移

調査実施月	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	
調査期間	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	2020.04~06	2020.07~09	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	先行き見通し
全産業	3.1	△ 6.7	△ 42.2	△ 70.9	△ 51.3	△ 40.4	△ 19.6	△ 1.8	△ 14.2	0.0
建設業	13.6	15.4	△ 25.9	△ 85.7	△ 60.0	△ 23.3	3.6	△ 23.8	13.6	31.8
製造業	△ 2.6	△ 29.4	△ 57.1	△ 87.8	△ 67.4	△ 44.0	△ 22.2	25.8	0.0	△ 6.9
卸売業	△ 27.8	△ 16.7	△ 45.0	△ 60.0	△ 87.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 35.7	△ 46.7	△ 33.3
小売業	△ 10.0	△ 52.4	△ 60.0	△ 50.0	△ 41.2	△ 50.0	△ 26.3	△ 20.0	△ 18.8	△ 25.0
サービス業	26.3	21.6	△ 47.1	△ 66.7	△ 40.5	△ 43.2	△ 5.6	3.4	△ 34.6	26.9
その他	0.0	9.1	△ 16.0	△ 42.9	9.1	△ 35.3	△ 47.1	14.3	△ 8.3	△ 25.0

建設が大幅に回復するも、小売りはマイナス幅が横ばい、製造・卸売・サービス・その他は悪化。

先行きはサービスが大幅に回復、建設・卸売は増加、製造・小売・その他は悪化の見通し。

### ●採算DIの推移

調査実施月	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	
調査期間	2019.7~9	2019.10~12	2020.01~03	2020.04~06	2020.07~09	2020.10~12	2021.1~3	2021.4~6	2021.7~9	先行き見通し
全産業	△ 5.6	△ 7.9	△ 37.3	△ 66.5	△ 48.7	△ 31.3	△ 15.8	△ 5.4	△ 19.2	△ 10.0
建設業	9.1	7.7	△ 18.5	△ 76.2	△ 50.0	△ 16.7	△ 3.6	△ 19.0	9.1	18.2
製造業	△ 7.7	△ 35.3	△ 51.4	△ 85.7	△ 60.9	△ 34.0	△ 17.8	25.8	△ 10.3	△ 13.8
卸売業	△ 22.2	△ 8.3	△ 45.0	△ 70.0	△ 75.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 28.6	△ 40.0	△ 33.3
小売業	△ 20.0	△ 47.6	△ 45.0	△ 36.4	△ 41.2	△ 25.0	△ 21.1	△ 40.0	△ 31.3	△ 25.0
サービス業	5.3	18.9	△ 44.1	△ 57.1	△ 45.2	△ 32.4	0.0	△ 10.3	△ 34.6	7.7
その他	△ 8.7	9.1	△ 16.0	△ 57.1	0.0	△ 41.2	35.3	14.3	△ 16.7	△ 41.7

採算DIは、悪化（前回△5.4→今回△19.2）。建設は好転、小売は横ばい、製造・卸売・サービス・その他は悪化。

先行きは建設・卸売・小売・サービスは好転。製造は横ばい、その他は更に悪化の見通し。

## 地域経済動向レポート

### ●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.1	2021.4	2021.7	2021.10	
調査期間	2019.7～9	2019.10～12	2020.01～03	2020.04～06	2020.07～09	2020.10～12	2021.1～3	2021.4～6	2021.7～9	先行き見通し
全産業	△ 1.3	△ 3.7	△ 29.2	△ 34.8	△ 19.5	△ 16.9	△ 1.9	△ 2.7	△ 5.0	△ 6.7
建設業	18.2	3.8	△ 18.5	△ 28.6	△ 23.3	△ 13.3	0.0	△ 9.5	9.1	9.1
製造業	△ 7.7	△ 14.7	△ 34.3	△ 61.2	△ 34.8	△ 22.0	△ 2.2	16.1	3.4	△ 3.4
卸売業	△ 5.6	△ 4.2	△ 25.0	0.0	△ 37.5	△ 16.7	0.0	△ 28.6	△ 20.0	△ 26.7
小売業	△ 15.0	△ 19.0	△ 35.0	△ 27.3	△ 23.5	△ 20.0	21.1	0.0	△ 6.3	△ 12.5
サービス業	0.0	5.4	△ 38.2	△ 21.4	2.4	△ 5.4	11.1	△ 10.3	△ 15.4	△ 7.7
その他	4.3	4.5	△ 20.0	△ 28.6	△ 9.1	△ 29.4	17.6	14.3	△ 8.3	△ 16.7

資金繰りDIはマイナス幅でほぼ横ばい（前回△2.7→今回△5.0）。建設と卸売が好転、製造がプラス維持も悪化。小売・サービス・その他は悪化。先行きは建設が横ばい、サービスが改善、製造・卸売・小売・その他は悪化の見通し。

### ●従業員DIの推移（小規模）

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

調査実施月	2019.10	2020.01	2020.04	2020.07	2020.10	2021.1	2021.4	2021.7	2021.7	
調査期間	2019.7～9	2019.10～12	2020.01～03	2020.04～06	2020.07～09	2020.10～12	2021.1～3	2021.4～6	2021.7～9	先行き見通し
全産業	△ 12.5	△ 7.9	△ 5.0	1.9	△ 5.8	△ 14.5	△ 13.3	△ 4.5	△ 6.7	△ 7.5
建設業	△ 31.8	△ 11.5	△ 3.7	0.0	△ 13.3	△ 20.0	△ 25.0	△ 19.0	△ 9.1	△ 13.6
製造業	△ 12.8	△ 8.8	△ 5.7	10.2	△ 4.3	△ 12.0	△ 8.9	3.2	△ 10.3	△ 3.4
卸売業	△ 11.1	△ 8.3	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 16.7	△ 14.3	6.7	0.0
小売業	△ 10.0	△ 14.3	△ 10.0	△ 9.1	△ 5.9	△ 15.0	△ 5.3	0.0	0.0	△ 6.3
サービス業	△ 7.9	△ 2.7	△ 5.9	2.4	△ 4.8	△ 13.5	△ 16.7	0.0	△ 7.7	△ 7.7
その他	△ 4.3	△ 4.5	△ 4.0	△ 7.1	0.0	△ 5.9	0.0	0.0	△ 16.7	△ 16.7

従業員DIは、引き続き不足の傾向（前回△4.5→今回△6.7）。卸売のみ過剰傾向、小売は横ばい。先行きは、卸売以外の建設・製造・小売・サービス・その他で不足傾向となる。

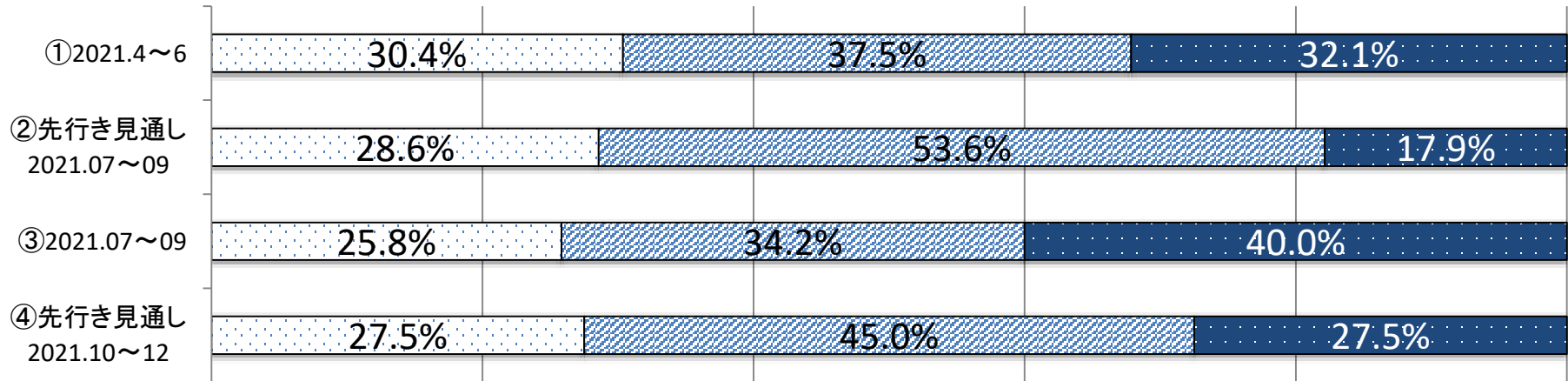
## 地域経済動向レポート

### 業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種	2021年10月	内容
建設	現状・先行き	建設現場における工事の中止・延期が相次ぐ。工事が再開されても、コロナ対策の資材購入費や3密を避ける作業工程変更による人件費の増加などコスト負担増が問題。（エクステリア工事業）
		設備老朽化のため投資増加を期待したいが、設備投資抑制の傾向が強く売上を確保するのに苦戦が予測される。（外構工事業）
	業界動向	建設原材料の高騰のなか、新築に係る受注が不透明となっている。（防水工事業）
製造	現状・先行き	輸入原材料の入荷不足及びカーボンニュートラルの影響で原材料の高騰。（その他の生産用機械・同部分品製造業、自動車関連製造業）
		原材料が高騰、コロナ禍による売上の減少。（菓子製造業）
	業界動向	半導体不足の影響で自動車が減産されれば減益となるかもしれない。（金属加工機械製造業）
卸売	現状・先行き	カーボンニュートラルの影響により、受注件数の減少及び加工原材料（鉄・アルミなど）の高騰の影響が見受けながら、加工料の価格が増加できず、売上・採算・資金繰りの悪化が予測される。（金属素形材製品製造業、金属加工機械製造業）
		海外輸入品の不足による売上減（家具卸売業）
	業界動向	公共事業の発注自体が減少傾向にあり、プレゼン営業を主体となってきている。
小売	現状・先行き	住宅設備の需要が高まる業界であるが、デジタル化の遅れが問題で、ネット通販サイト（BtoB ECサイト）の導入も進んでいない。（建材業）
		「DX」へ向けての取り組みが活発化と思われる（産業機械器具卸売業）
	業界動向	コロナの影響がまだ継続しており、来店客数・売上が回復していない。（化粧品小売業、野菜・果実小売業、家電小売業）
サービス	現状・先行き	海外部品の入荷が遅れて商品化出来ず。現行の在庫のみの販売となるため売上は減少傾向（自動車小売業）
		野菜など価格が高騰している。入札契約による価格転嫁が厳しい状況がある。（野菜・果実小売業）
	業界動向	景気回復の兆しはあるが製造業の素材不足が足を引っ張っている。（機械設計業）
その他	現状・先行き	コロナの影響によるアルコール提供が中止になってから、売上悪化に繋がっている。（飲食店）
		緊急事態宣言解除による客足改善に期待したい。（飲食店・ライティング業）
	業界動向	自動車業界に関してはガソリン価格の急騰や半導体の原料生産国の流通の改善、先進的な安全装備の急激な進化、動力の多様化など業界自体が注意事項を複数抱えていることを常に意識すべきとは体感している。（自動車整備業）
その他	現状・先行き	慢性的な人材不足。（運輸業）
		w e b制作を少し抑えてYouTubeなど新しい取り組みにチャレンジ中のため、新規分の売上が少なくなる見込み。（WEBデザイン業）
	業界動向	コンサルティング業は、事業再構築補助金の申請の件数が伸びていたため、市場が伸びている。（コンサルティング業）

### 小規模の売上(回答割合)

■ 増加 ■ 不変 ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

